

の目的でありましょう。従って、それぞれの学校で目的・実状に即して、実施の時期・回数・内容の程度などをきめ、ただその実施にあたっては、明確な目的をもって、できるだけ焦点をしぼって行なうことが大切でしょう。教師の周到な準備と生徒の野外調査に対する必要感・意欲を充分喚起して実施し、更に事後の学習への発展をさせて行ったならば、効果的な野外調査となるのではないのでしょうか。

以上釈に説法ということになってしまいました。受験その他で地理教育がゆがめられがちな現在、私達は知識の切り売りに終らないよう地についた指導をしていきたいものと思います。

卒業して10年

前 沢 智 恵 子

卒業してついに10年を経過しました。学生時代には想像もつかない先の事のように思っていたのに、又自分では今だに自覚はしていませんが、社会的レッテルは「中年女」なのかと思う此頃です。

先日クラス会に出席して久しぶりに、おしゃべりを楽しみましたが、卒業10年の具体的な状況とは、独身の人達は、欧米、東南亜の外国旅行を楽しみ、結婚した人達は、大体二子を得、上の子は就学と云う段階にあるようでした。一心独身もこぶつきも楽しからずやと云うところでしょうか、各々に自分の居場所が、社会の中に家庭の中に安定しているようで、商売内ホッとしたものの、全く平穩無事と云うことではなく、問題はどの時代でもつきないのだと云う感じを受けました。

社会の仕組みも自分の能力の限界も分り、かと云って殊更に絶望とか劣等感と云う事も深刻ではないのです。が、家族と云う一つの社会集団と一般社会とのレベルの低い調和の具体的問題や、職場でのあるべき姿とある姿の問題、子供への接し方の問題など現実の生活の中の問題は数限りなく、その意味では現実生活の真中にいる年代と云う気はいたしました。何とか元気に皆やっていると云うのは反面全て卒業時のように感受性が敏感ではなくなったと云うことではないのでしょうか？

働き盛りと中だるみは私達の相反する特徴のようです。

仕事を通じて思うことですが、女の人には自分の対象物(夫・子供)に自分の全てを注いでしまっていて、気がついた時は、自分のカップのお皿の中の水は干上っていたと云うのがしばしばあるようです。エネルギー不滅の法則はないのですが、自分で自分のお皿の中の水を補給することも忘れられないことではないかと思うのです。忙がしい日常の中にはつつい忘れ勝ちなのですが、活動的で多忙な生活を持つ苦勞の中でこの次の段階の本当の中年に入る時期を迎えているように思いました。

10年先はどんなでしょうか。今度は旧師達も「変ってはいないな」とはおっしゃいますまい！
これから先の空間を思うと少々怖くはありますけれど、それに大分疲れてはいますけれど、それでも
行かなければいけないのでしょね。煩悩りはせず、身体を大事にして、やっぱり元気に笑って
クラス会を迎えたいと思ったことでした。

ミセス先生

阪尾由美子

今春の卒業生に招かれ、高尾山～相模湖へとぬけて楽しいダベリングし、帰り着くと速達便です。
何事ならんと思えば「日々の活躍の中から原稿を」とのこと。締切まで5日間とはさてどうしたもの
か……こういう会誌の運営の大変さはよく解るので、協力の気持を形に表すのも大切か……など思
っていると翌朝の新聞に「ミセス先生」。いわく、「勤続十年前後油のりきった所で育児のため
にやめていく……等々」ピタリ同じ悩みです。私の場合やがて五つになる娘を市の保育所に安心し
てお願いしているので、恵まれている方ですが、それでも帰宅してからは雲がわくような雑事の連
続、さし迫った調べ物で夜を徹することもありますし。その一方では生徒の若い魅力にとりつかれ
ている私でもあり、丁度高校入試問題が連日紙面を賑わしクローズアップされているので、このひ
ずんだ制度の中で生きる中学生とのつき合いを二、三メモしようと思いたちました。

よく父母から子供がとても反抗的だとかハレモノにさわるような訴えを聞きます。実は成長の一
面ですが急に親から離れていくやりきれなさもあるでしょう。新入生の頃はビーチクパーチク母親
に甘える様にまといつくあどけなさも、卒業時にはヒゲでも生える気味悪さ。中学三年間は心身の
激動期です。朝「お早う」といって見渡す50人はその顔の様に生活体験が違います。集団指導と
その中の個人指導と……つくづくむづかしい年頃だなあーと実感します。＝ 父親とぶつかって面
白くなくオヤジの世話になるもんかと、新聞配達してかせぐ意地っ張りがいました。学校でも何か
とかゝわってはあばれるのもめ事が多い子です。あるべき事のあと4、5人を呼んだら親分格の
彼、「ほくもでしよう」「君は呼ばないわよ」「どうしてさ」「君には折にふれ云い尽してきたも
の」「……」「見込みないからアキラメタンダア」と片目つぶってみせたら、山嵐みたいのがす
ごく淋しい顔をします。自制力の少い現代っ子じみた直線的行動とウラハラに悪い事も知り、叱っ
てもらいたい純粋さがあり憎めません。逆手に出ることも必要で、親がとかく気嫌を伺う様に扱
うとなおさら荒れたりするようです。別れの日「先生生きててよ！」といったっけ。念願の訓練所で
自動車整備をしています。『いたずらするから一番前さ』とその辺も相変らずです。＝ 彼女。
何度目の家出だろうか。又して私の魔の第二金曜日になった……いつも生理前なのです。複雑な家